

「学校経営の基本理念」

「幸せのおふれる学校」 ～すべては七小の子供たちの笑顔のために～

- 1 「地域の学校」という公立学校の特徴と小規模校の良さを最大限生かします。
- 2 子供たちの個性・特性の伸長を図る教育活動の充実を第一義とします。
- 3 これからの社会を生き抜くための「生きる力」を、お互い高め合う集団の中で育てていきます。
- 4 教職員一人一人の力量を高め、プロとして協働して全力で子供たちを支援します。

「目指す学校像」

地域と心がかよう 心と頭と体を伸ばす学校
～児童一人一人のよさが輝き、共に学び高め合う学校～

1 地域

「子供は地域の宝」であり「地域は学校の宝」である。また、地域人材は人財であるという視点から地域に根ざした学校を目指す。地域の人財や自然環境、文化や伝統などを教育活動に取り込み、地域と一体感のある教育活動で具現化を図る。

2 個性

少人数のメリットを活かし、一人一人のよさが生きる取組を日々積み重ねる。自分の意見を大切にし、主体的に学ぶ授業、自分の考えや作品などとの対話を通して学ぶ学習展開などを通して具現化を図る。

3 共生

互いのよさを認め合い、励まし合い、助け合うことで相互に学び高め合うことができる。「みんなで学ぶと楽しい、よく分かる、よくできる」ことを実感し合える授業、対話的な学びを取り入れた授業を通して、具現化を図る。

4 教職員

地域との連携やより質の高い授業を展開していくのは教員一人一人の力量である。分かる楽しさ、できる喜びを実感できる授業を追究する。そのためには教職員が自己のもてる力を全力で出し合い、組織として高め合えるようにすることで具現化を図る。

4つのキーワード

＜法例等＞

- ・憲法、学習指導要領
- ・都や市の教育目標 等

＜学校の現状＞

- ・148年の伝統と文化
- ・小規模校 等

＜児童の実態＞

- ・思いやり
- ・落ち着き 等

＜保護者・地域の実態＞

- ・愛情あふれる家庭
- ・豊かな地域性

＜学校の教育目標＞

自ら考え、正しく判断し、行動できる心身ともに健康な子どもを育成する

「仲良く助け合う子」【心】 「進んで学習する子」【頭】 「じょうぶな体をもつ子」【体】

何のために

豊かな心の育成【心の伸長】

あたま

確かな学力の育成【頭の伸長】

からだ

健やかな体の育成【体の伸長】

何を重点にするか

- 人権教育の推進
 - ・挨拶や言葉遣い
 - ・いじめをなくす取組
- 道徳教育の充実
 - ・特別の教科道徳の推進
- 思いやりや尽くす心の育成
 - ・たてわり班活動の充実
 - ・交流活動の充実
- 自己肯定感・レジリエンスの育成
 - ・家庭との連携
 - ・教育相談の充実

- 学習意欲の向上
 - ・めあてや振り返りの重視
- 基礎学力の向上
 - ・個に応じた指導の充実【学びの個別最適化】
 - ・学習規律の徹底
- 思考力・判断力・表現力の向上
 - ・考える力、表す力の育成
 - ・学び高め合う活動の充実
- 対話のある授業【学びの協働化】

- 体力の向上
 - ・体育の授業の充実
 - ・一校一取組運動の充実
- 健康の増進
 - ・保健指導の充実
- 命を守る教育の推進
 - ・日常の安全指導の充実
 - ・避難訓練や安全教室等の充実
- オリパラ教育の推進
 - ・5つの資質の育成
- 新しい生活様式への対応

●特色ある教育活動

- ・地域に根ざした教育活動
- ・一人一台GIGAスクール端末の教育活動全体での常時活用
- ・学校図書館司書及び図書ボランティアとの連携
- ・小中一貫教育の推進
- ・郷土資料室「いろり庵」を活用した郷土学習
- ・家庭学習の推進
- ・黒沢川を活用した環境教育